

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 4月23日更新

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 衛藤 文明
	施策	4	子育て支援の充実		所属課	子育て支援課	担当者名 中島 仁
	施策の柱	17	地域における子育て支援		所属班	子ども家庭班	(内線) 1185
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10585	根拠法令	合志市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	働く人の仕事と育児の両立を図るため、育児の相互援助活動を行う会員(利用会員、協力会員)を組織し、コーディネートする。(合志市社協へ委託) 急な残業の際など、既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応するため、地域における育児に関する相互援助活動をファミリー・サポート・センター事業として、平成6年に国が規定。合志市では平成14年度から実施。ファミリー・サポート・センター事業については、平成28年度で1,724自治体中833箇所で開催中。合志市のファミリー・サポート・センターは県内でも登録会員数や活動件数からみても熊本市に次ぐ規模であり県からも評価を得ている。 ※令和元年度末より新型コロナウイルス感染症の影響により利用件数が減っている。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応できているということで評価を得ている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	ファミリーサポートセンター事業を委託により実施した。これまでのファミリーサポートでは対応できなかった緊急な場合の支援として、「緊急サポート」も実施した(H22.10~)。(子どもの急な発熱などでの保育園の送迎及び病院受診、病児病後児保育室が満室の場合の預かり、宿泊を伴う預かり) 令和元年度末からの新型コロナウイルスの影響により利用件数が減少した。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ファミリーサポートセンター事業を委託により実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 → ア: ファミサボ利用会員登録数 イ: ファミサボ協力会員登録数	予算の主な増減の理由 受託事業者の的人件費増加による委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・小学校6年生までの児童を持つ保護者 ・講習会を受講し、子育ての応援をしたい人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → ア: 小学校第6学年までの児童数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・子育てと仕事の両立ができる。 ・地域で子育てを支援する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 → ア: ファミサボ利用件数 イ: ファミサボ相談件数
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、平成22年度以降については、前年度並みで設定した。		0

各指標・総事業費の推移	単位	30年度	31年度	2年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 人	1,382	1,194	1,350	1,212	1,400	1,450	1,500	1,550	
	イ 人	415	451	450	445	450	450	450	450	
② 対象指標	ア 人	10,057	10,112	11,000	10,190	11,000	11,000	11,000	11,000	
	イ 人									
③ 成果指標	ア 件	2,011	1,783	2,000	1,888	2,000	2,000	2,000	2,000	
	イ 件	591	1,157	500	1,013	500	500	500	500	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	4,504	5,553	5,753	5,753	6,053	6,060	6,060
		都道府県支出金	千円	5,504	4,896	5,753	5,586	6,053	6,060	6,060
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	6,504	6,221	5,754	5,921	6,054	6,060	6,060
		(A) 事業費計	千円	16,512	16,670	17,260	17,260	18,160	18,180	18,180
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	3	2	4	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	30	30	55	125	55	55	55	
	(B) 人件費計	千円	118	118	219	492	219	219	219	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	16,630	16,788	17,479	17,752	18,379	18,399	18,399	

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は 2年度 の事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少した。
	② 3年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少しており、利用者数に戻るには時間がかかると考えられる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 利用会員と協力会員の登録者数を増やす必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業が無い
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国の基準に基づき事業を実施しており、削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最少の人員で実施しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の基準に基づき事業を実施しており、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の基準で実施している事業であるため、行政の役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

活動内容も、利用者に即したものであり、登録会員数は年々増えている。
 仕事と育児の両立等のための環境整備が図られている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						